

平成23年10月13・14日  
REDD研究開発センター 平成23年度第1回公開セミナー

実践から学ぶREDDプラス  
—国際交渉・現場と研究開発をつなぐ—

まとめ

(独)森林総合研究所  
REDD研究開発センター長  
松本光朗

# 発表からのメッセージ 1日目

- 基調講演
  - IPCCの活動を例に科学者の役割
- SS 1. REDDプラス その枠組みと国家戦略
  - REDDプラスは次期枠組み交渉において重要
  - 2°C目標の中での全球的なREDDプラスの目標
  - 二国間オフセット・クレジット制度においても重要
  - 他の枠組みとの関係性、森林の多面的機能への配慮
- SS 2. REDDプラス 現場からの報告
  - JICAのREDDプラスへの取組強化
  - 先行的プロジェクトによる経験: MRV、参照レベル、コスト
  - 投資家の視点: クレジット市場の早期立ち上げが民間参入に必要
  - 保全契約の経験からの教訓: 地元とのコミュニケーション
  - 土壌炭素の考慮の必要性

# 発表からのメッセージ 2日目

- SS 3. 森林炭素モニタリングへの道筋
  - RSを中心としたモニタリング技術開発の現状とポイント
  - 地上調査の重要性の再認識
  - RSと炭素循環モデルとの結合、フラックス観測の必要性
  - PALSAR利用のための技術開発の現状
  - 超小型衛星利用の可能性
  - 補正の問題、技術移転の課題、エンドユーザーの考慮
- SS 4. REDDプラスのガバナンス、セーフガード
  - 最貧国も参加できるような仕組み
  - マダガスカル、インドネシアでのプロジェクト事例からの教訓
  - 住民の同意に基づく参画の必要性、説明・コミュニケーション不足の問題
  - 二国間制度でもセーフガードを確保できるシステムを導入する必要
- SS 5. REDDプラスの制度設計
  - AR-CDMの経験、コミュニティの参加・実施とキャパビルの必要性
  - 市場メカニズムの課題、REDDプラスメカニズムの3つのシナリオと論点
  - 検証機関・審査者の視点から見た信頼性の確保、REDDプラスでの課題
  - ガイドライン・方法論の開発のポイント

# セミナーの目的は達成されたか？

1. 関係省庁、NGO、民間企業等の実務者と科学者・研究者との情報共有と連携促進を図る
2. REDDプラス実施のためのガイドライン・方法論の策定に向けた課題の共有、議論の活性化を図る

ストックテイキングとして定期的な開催の必要性

# 森林総研が主催するセミナー等の予定

- 公開セミナー 「地球の肺ーアマゾンの森をはかる」
  - SATREPS「アマゾンの森林における炭素動態の広域評価 (CADAF)」中間報告
  - 2011年10月25日(火)13時～17時
  - 東京国際フォーラム(有楽町)ホールD5
- ForestDay5 REDDプラスのMRVに関わるセッション
  - 2011年12月4日
  - 南アフリカ・ダーバン
- 国際セミナー
  - 2012年2月7・8日
  - 早稲田大学 国際会議場(井深大記念ホール)



公開セミナー

# 地球の肺 アマゾンの森をはかる

平成23年10月25日(火) 13~17時  
東京国際フォーラム(有楽町) ホールD5  
参加費無料 日英同時通訳付

基調講演 アマゾンの森林とその炭素蓄積  
*Amazonian Rainforest and its carbon stock*

ニーロ・ヒグチ 博士  
(ブラジル国立アマゾン研究所)

2010年BUNGE賞受賞  
2011年JICA理事長表彰受賞



## CADAFプロジェクト

—これまでのアマゾン研究と何が異なるか—  
石塚森吉(森林総合研究所 研究コーディネータ)

## 空から観るアマゾンの様々な姿

沢田治雄(東京大学生産技術研究所 教授)

## ブラジルにおけるREDD+の特徴と日伯協力の可能性

福代孝良(在伯日本国大使館科学技術担当官・ビデオ出演予定)

## パネルディスカッション

炭素蓄積のMRV(測定・報告・検証)を中心に

司会 松本光朗

(森林総合研究所REDD研究開発センター長)

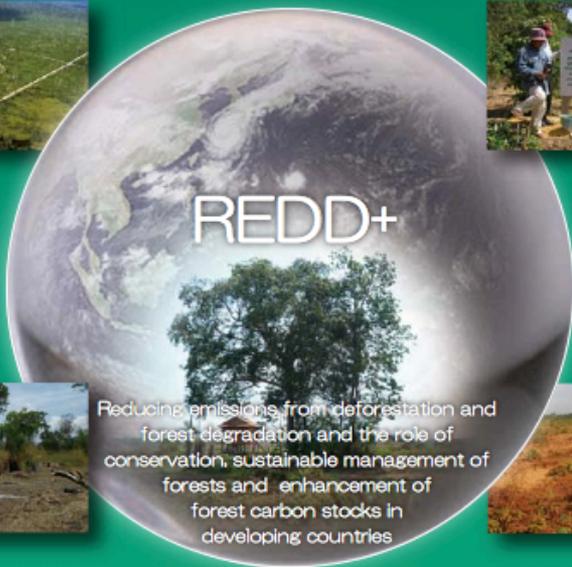
パネラー 矢崎慎介(兼松株式会社)

白石 到(丸紅株式会社)

渡邊優子(三菱商事株式会社)

# REDD プラスに係る 森林技術者講習開催のお知らせ

【基礎講習・応用講習】



Reducing emissions from deforestation and forest degradation and the role of conservation, sustainable management of forests and enhancement of forest carbon stocks in developing countries



地球温暖化防止対策を世界各国が参加して議論する、気候変動枠組条約締約国会合 (UNFCCC, COP) では、REDDプラス(途上国における森林の減少・劣化に由来する排出の削減及び森林保全)の課題がクローズアップされています。

森林総合研究所REDD研究開発センターでは、このような課題に対応できる人材を育成し我が国の国際貢献を支援するため、海外で活躍するREDDプラス技術者の養成研修を実施します。

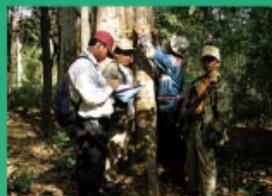
## 講習日程

基礎講習：平成23年11月14日(月)～18日(金)  
応用講習：①平成24年1月23日(月)～25日(水)  
②平成24年1月16日(月)～18日(水)

## 受講の流れ

本講習は、基本的な知識・技術の習得を目的とした「基礎講習」と、具体的かつ実践的な内容の習得を目的とした「応用講習」の2段階に分けて実施します。(詳細は裏面に記載)

## 通常の受講の流れ



# 23年度森林技術者講習

- 基礎講習
  - 平成23年11月14日(月)～18日(金)
- 応用講習
  - プロジェクト設計書(PDD)の作成実習
    - 平成24年1月23日(月)～25日(水)
  - 高度・実践的なモニタリング手法の検討
    - 平成24年1月16日(月)～18日(水)

またお会いしましょう